

タカラコラボラボ 第15回・第1期第15回TaCoLAB(宝塚市協働のまちづくり推進会議) 議事録	
開催日時	令和7年(2025年)8月28日(木) 15:30~17:00
開催場所	会議室A
次 第	1 開会 2 議事 (1) つながりカフェ TaCoLAB について (2) 協働の事例集の更新について 3 その他 4 閉会
出席委員	田中会長、加藤委員、遠座委員、松村委員、龍見委員、岡田委員、平岩委員、橋之爪委員、永崎委員
開催形態	公開(傍聴人0名)

1 開会

事務局から、本日の出席者は9名であり、宝塚市協働のまちづくり推進会議規則(以下「規則」という)第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は0名であることを報告した。

2 議事

(1) つながりカフェ TaCoLAB

ア 7、8月のつながりカフェ TaCoLAB について

表記について事務局より資料に基づき報告を行い、意見交換を行った。

(ア) (7月開催について) 場所的にすごく狭く、また利用していた人もいたため、場所を確保することが難しかった。

(イ) (会長) 入りきれなかったのか。

(ウ) (事務局) 入りきれたが、やはり前回でも話があったように想定以上に狭かった。

(エ) (ア委員) 7、8月とも参加者の中でつながりが生まれていた。7月では仁川にお住まいで防災に興味がある方と仁川で活動されている委員の方をつなぐことができた。場所については、オープンだけどそうじゃないような不思議な場所ではあったと思う。

(オ) ゲストと公募の違いは何か。

(カ) (事務局) 7月より公募を開始し、広報誌やLINEなどで周知した。公募は申し込みがあった人及び飛び込みで参加した人、ゲストは委員の方に1名程度のゲストのお声掛けをお願いしているため、その違いになる。

- (キ) (7月開催について) 少し早めに行くところと場所に人が沢山いて、大丈夫かなと思った。使うことをあらかじめコープさんに伝えていたと思うが、誰でも自由に使える場所なため、利用していた方には直前に移動してもらう形となった。チラシにどんなことでもお話しくださいと記載されていることと参加者の思いが強い場合があり、ファシリテーターが発言者が偏らないようコントロールするのに苦慮することがあった。つながりカフェの趣旨と違うなと感じた。目的が曖昧になっている。ファシリテーターの方が大変のように思う。仁川の方と防災の件でつながれたのは良かった。
- (ク) 7月も8月も来られていたが、すごく話したい人が来たときにどこで話を切るのかが難しい。
- (ケ) (8月開催について) 場所的には3階だったため、上がるのが少しきつかった。しかし、上がってしまえばかなり広く使い勝手が良いなと感じた。内容はまち歩きのアプリを作っている方が来られていて、その話があったりして良かった。ただ、同じ話を繰り返す人がいて、その人が話すたびに話が戻ってしまうということがあった。それについては今後の課題かなと思う。
- (コ) (8月の開催について) 初めて参加したが、やはり入口が入りづらいことがネックかなと思った。場所自体は広くて快適だった。16人ほど来られていて、よかった。実際に出席していた方が後日 NPO センターに来てくれ、つながりが生まれたのかなと思った。
- (サ) (8月の開催について) 飛び込みで来られた方がいろんな人とつながっていてよかったなと思う。
- (シ) (8月の開催について) 市議会議員の方が大学生を連れてきてくれた。やはり学生なので柔軟な発言をしてくれたと思う。
- (ス) (7月の開催について) 場所が少し中途半端な感じで誰でも入れる状態だった。全然つながりカフェとは関係なく入ってくる人がいたため、場所に少し問題があったように感じた。
- (セ) (7月の開催について) 確かに誰でも入れるような場所だったため、もう少し広ければよかったかなと思った。利用している人に移動してもらわないといけないのも申し訳ない。誰でも参加しやすい点では良いなと思ったのもう少しオープンな場所でもいいかなと思った。私自身も全く知らない人と話が出来てよかった。ただ、発散してもらうという意味ではいいのかなと思ったが、一人の人の話が少し長いのが気になった。塩梅が難しい。新しく何か始めたい人が来てくれたのでそこはよかった。

イ 8/22(金)実施 第10回作業班報告

① 開催日程・場所について

表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) 2カ月に1回の開催でもいいのではないかという意見について、あ

るところでは奇数月と偶数月どちらかで1回というのものもある。ほとんどのところが月に1回開催している。2カ月に1回だと前回はどうかだったかなど思い出せない場合もある。開催頻度については皆さんで話し合っていく必要がある。

- (イ) (事務局) 開催頻度については今後どのように周知していったら認知度をあげていくかによると思う。参加者のアンケートなどを参考にしていける必要があるため、しばらくはあまりルールを変えず、月1回を目標に今後も開催していった方がいいと思う。
- (ウ) 開催場所を固定することについては宝塚は右岸左岸に分かれているため、右岸側で1回、翌月に左岸側で1回という風に交互に開催しても良いと思う。今までトライアルでやってきていたため、本来どうしたらいいのか考え直した方がいいと思う。場所は固定する方がいいと思う。
- (エ) (会長) アンケートでは固定した方がいいという意見と、色々なところで開催してほしいという意見がある。
- (オ) 行く方は今回はどこだろう？となってしまう。また駅から遠いとどの手段でいけばいいのか迷う。
- (カ) (会長) 市のHPでは情報は流しているのか。
- (キ) (事務局) チラシと一緒に情報は掲載している。
- (ク) (事務局) 毎回場所が異なるとアンケートの回答で比較することがなかなか難しいように思う。右岸・左岸で場所をある程度絞りながらやっていくと今後比較しやすくなると思う。
- (ケ) (会長) 駅から近いというのはやはり魅力か。
- (コ) 今回(8月に)ふらっと来られた方などをみると駅周辺には人も集まりやすく、立ち寄りやすいのではないかなと思う。
- (サ) 交通手段によるかなとは思う。右岸側の逆瀬川から左岸側まで車で行くと駐車場代がかかってしまう。車で行こうと思っている方は考えてしまうかなと思う。
- (シ) 委員やゲストは別だが、右岸及び左岸側でそれぞれ開催して、来られる人が来てくれたらいいかなと思う。
- (ス) 個人的に毎月となると参加しにくいかなと思うが、時間的には参加しやすい時間であればいいかなと思う。
- (セ) (会長) 10月の開催場所としてシェアカフェはどうかという意見があるが、それについてはどうか。
- (ソ) (委員全員) 意見なし。
- (タ) 宝塚の花のみちにある60平米くらいの場所になる。宝塚NP0センターが飲食店をしたいという方に場所を提供している。日替わりでお店のオーナーが変わっている。今ちょうど夜のわくが空いている。キッチン等も自由に使える。昼間は飲食業のみの利用となっているが夜は自由に使えるためど

うかなと思った。

- (チ) (会長) 60平米ほどであれば十分な広さかと思う。
- (ツ) (タ委員) 中央に机があり動かすことができる。8人ほど座れると思う。椅子はNPOセンターから貸し出しが可能なため増やすことができる。調理器具やコーヒーマーカーなども自由に使える。
- (テ) (会長) 10月の開催場所についてはシェアカフェで良いか。
- (ト) (委員全員) 反対意見なし
- (ナ) (会長) 11月の開催場所については今後に検討するという事で問題ないか。
- (ニ) (事務局) それについてだが、委員の皆さんの任期が11月までということと、早めに周知させていただきたいため、できれば今日決められると有難い。
- (ヌ) 8月の開催場所でもう一度やってみてはどうか。
- (ネ) (事務局) 8月はお昼の時間帯で利用させてもらったが、11月はどの時間帯がいいか。夜だと少し出入口が暗く、狭いという状態を考慮しなければならないがやってみることも一つの手。また再度お昼の時間帯にて開催することも可能。
- (ノ) 前回昼間の時間帯でやっているため、次はできれば夜の時間帯がいいかなと思う。
- (ハ) 入口がかなり狭いと思う。
- (ヒ) そのため高齢者の方は避けるかもしれない。
- (フ) 2階や3階のスペースは使おうと思って使っている人が多く、ゲストなどを呼んで行うとなると難しい場所だと思う。
- (ヘ) けがをしてしまうと危ないため、新規の高齢者の方などが気軽に来られる場所ではないと思う。
- (ホ) (会長) そういったバリアフリーについても考慮していかないといけない。
- (マ) (事務局) 夜の開催となると入口が狭く、かなり暗い。誰かが入口の前に立って案内したり、ライトを置いておくことも可能だとは思う。階段については手すりを使って上がってもらうことになる。
- (ミ) (会長) 転倒し、けがをしてしまうと責任問題になり兼ねない。
- (ム) 2～3人程度の公募の人数であれば事前に確認しようと思えばできないことはないと思う。
- (メ) (事務局) 今回の公募の方にも電話にて階段のみでしかアクセスできない旨などは事前に説明させてもらったうえでの参加だった。
- (モ) (会長) 同意したということがしっかりわかるようにメールでのやり取りの方が良いように思う。
- (ヤ) (事務局) 市としてイベントを行う際には誰でもご参加いただけるように車いすの方どもへも配慮をしている。そのため、行う場所として、誰かしら制限のかかるような場所となると少し気になる。みんなが行きやすいという

ところは市として大事にしたいところではある。仮にこの場所を固定するとなると、行きたいけど行けないという人が出てくる可能性がある。そうすると難しいかと思う。やはりバリアフリーというところは重視したい。

- (ユ) 高齢者は階段を上ることより下りることの方が怖いと思う。
- (ヨ) (会長) まちづくりの分野で考えると、1 階の方がひらけていて、にぎわいづくりとしてはいいかなと思う。何をしているか見える場所でやれた方が良いいかなと思う。これからの開催場所については誰でも来られるというところを考えていく必要がある。
- (ラ) アンケートにて仁川でやりたいという声があったが仁川はどうか。
- (リ) 仁川には良い施設はあるが、広さがあまりない。また行きにくい場所もある。その点ここおるは行きやすかった。
- (ル) 本当に駅周辺で絞る方がいいのかどうかで意見が変わってくると思う。何を優先するのか決める必要がある。誰でも来られるとしてもターゲットは絞った方がいいと思う。どんな人とどんなことをしたいのか、私たちの中でもう少し決めておいた方が良くいと思う。
- (レ) 明確な決まりはないが、ハンディキャップのある人にどう配慮していくのかというところだと思う。そのため、あまりに狭い入口だとなのかなのかとは思いう。小さなイベントについては決まりがないため、その都度どういった配慮をしていくのか考える必要がある。だれでも来られるという点で、入口が狭いや、階段のみだと少し配慮が足りないように思うが、駅から遠いというのはターゲットをどうするかなので配慮に欠けているとは思わない。
- (ロ) (会長) 高齢者に関わらず、お子様連れのベビーカーを押している人だったりもスムーズには入れた方が良くいと思う。
- (ワ) 実際に前回お子様連れの方が来られたということなので、その方たちが来づらくなると良くない。
- (ヲ) 8 月の開催場所は夜の開催は難しいと考えた方が良くい。
- (ン) 夜の開催であればシェアカフェが良くいと思う。
- (ア) シェアカフェは現在は空いているから使えるということか。
- (イ) もし仮に毎月 1 回など定期利用してもらえるのであればおさえられないことはない。
- (ウ) シェアカフェは以前より使えないかというので候補としてあったが、借りられないかもしれないというところで候補から外れていたと思う。
- (エ) (イ委員) 先ほど階段の問題があったが、シェアカフェにも 2 段ほどの階段があるため、バリアフリーではないかもしれない。
- (オ) そこまで気にするとかなり条件が厳しくなる。
- (カ) いざとなったら、サポートすることも可能だと思う。
- (キ) (事務局) 費用はどのくらいか。
- (ク) (イ委員) 夜の利用なので単発利用で 5 0 0 0 円。水道光熱費込みの料金。

持ち込みも自由なので、飲食等も自由に取れる。ピザを焼いたりするひともいる。

- (ケ) (事務局) 持ち寄るものなどを変えて、イベントみたいにすることもできるのか。
- (コ) (イ委員) 可能である。そういった利用をしている人もいる。
- (サ) 提案だが、右岸・左岸についても考慮して何か所かを固定して行うのはどうか。3カ月に一回その場所でやるという感じで。今それぞれ委員が割り当てられていると思うが、それについても自宅などから近い人や周辺の人が良いと思う。人と場所でセットを組んでやっていった方が良いと思う。今後つながりカフェが市の主催ではなく市民協働推進課のサポートを受けつつ、独立して行っていくということになれば、ここおるで毎月やってもいいかなと思っている。場所を考えるうえで、そういった今後の展開などを考えていくと良いかなと思う。8月の開催場所は駅に近く本当にいいところだと思うが、昼の開催が良いと思うので、そこでやれる人がいるのであれば良いと思う。一旦、11月までは試行を続けるというところで、現在決まっているのが、9月がピピア売布で、10月がシェアカフェ、11月がまだ決まっていない状況。
- (シ) (事務局) 11月はもう一度ここおるでやってみてもいいかなと思った。
- (ス) それについては問題ない。仮に11月は公募をせず、委員だけで行うとかであれば8月の開催場所でも良いかなと思った。
- (セ) (事務局) 11月は委員だけで行うのであれば8月の開催場所でも問題ないと思う。任期終了前になるので、これからどうしていくのかの話し合いを兼ねて行っても良いと思う。
- (ソ) 11月だけ公募をやめてしまうと市民の人が変に思うかもしれない。
- (タ) (事務局) どこまでこのつながりカフェ TaCoLAB が浸透しているかによるが、次のチラシに9月、10月を記載して、次が12月からにするとそんなに気にならないような気がする。
- (チ) それでいうと11月はシェアカフェの方が良い気がする。
- (ツ) (事務局) 11月は委員のシェアカフェの視察も兼ねて委員のみで行うということで良いか。その場合、費用は皆さんにご負担いただけると有難い。
- (テ) (委員全員) 反対意見なし
- (ト) (会長) 9月はピピア売布、10月はここおる、11月はシェアカフェで行うことにする。
- (ナ) (事務局) 時間については事務局にお任せいただいてもよろしいか。ここおるについては前回日中だったため、夜でもいいかなと思っている。
- (ニ) ここおるは夜でも問題ない。
- (ヌ) (委員全員) 反対意見なし。

② ルールの見直しについて

表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) まず、「進行や話の流れをコントロールするのにファシリテーターに負担がかかる」についてはどうか。
- (イ) 先ほどの報告で話をする人が偏ってしまう人がある件については、みんな同じような思いだったので、どうコントロールするかだと思う。他にも話したい人があるのでみたいな文言は入れた方が良いと思う。
- (ウ) グランドルールの中に「話は短めに」という文言を記載するか、グランドルールを説明する最初の時点で「できるだけ多くの人にお話をしてもらいたいので話は短めにお願いします」のような断りをいれるかが良いと思う。
- (エ) 手法としてはワールドカフェのようなものが良いと思う。話したい人がぬいぐるみをもって話し、制限時間を5分とかと設定する。ひとりにその場が支配されないような手法となる。テーマがなくてもやってみることが出来ると思う。
- (オ) 何を話しても良いとなっているため、来る人は話したくて来ている。
- (カ) ただ発散したいのか、聞いてほしいだけなのかとなると目的が変わってくる。ほとんどが聞いてほしい人だと思うので、時間を区切って行くと、ファシリテーターが困らなくて済むと思う。いろんな人に話してもらいたいというルールなのでという大丈夫だと思う。
- (キ) (会長) 川西のつながりカフェに行った際にはかなり長く話している人に対して、誰かが話を止めたということはなかったような気がする。
- (ク) それを良いとするのかどうかによると思う。
- (ケ) おそらくだが、川西のつながりカフェは主となっている人達の空気が周りの人を納得させているような気がする。
- (コ) どこかのタイミングで話題を変えないといけない。
- (サ) 7、8月の参加者の中にも思いが強く、同じ話を繰り返したり長く話したりしている人がいたが、他の人の話をききたかったため、葛藤があった。
- (シ) (会長) 少し口をはさむようなことはできるのか。
- (ス) 難しいと思う。
- (セ) みんな様子をうかがっている感じ。
- (ソ) そのために裏ファシリテーターを設定している。
- (タ) 誰がやるの? となってしまうため、裏ファシリテーターを設定して何かあったときに動く人を決めている。
- (チ) ファシリテーターがいざというときに動けるようにある程度こういうときはこうしようという共有はあった方が良いと思う。
- (ツ) (会長) 今までファシリテーターに頼り切りになってしまっていたので、ファシリテーターがしんどいというのはよくわかる。
- (テ) 逆にやっていいのかな? となるのがしんどいので、裏ファシリテーターと

してやってもいいと言われている方が有難い。

- (ト) (会長) グランドルールなどに直接書くのではなく、裏ファシリテーターとして行うということで問題ないか。
- (ナ) (委員全員) 反対意見なし
- (ニ) (会長) グランドルールだけでなく、チラシも机に置いておくことについて何か意見はあるか。
- (ヌ) (事務局) チラシを置いておくことで改めてつながりカフェがどういうものなのかを始まる前に再確認できるというところで作業班で意見が出た。
- (ネ) (委員全員) 反対意見なし
- (ノ) (会長) それでは次回以降チラシもあわせて机に置くということをお願いしたい。
- (ハ) (会長) グランドルールの SNS 掲載の文言について、この文言で問題ないか。
- (ヒ) # (ハッシュタグ) に「TaCoLAB」と入れることは問題ないのか。11月の任期で使用できなくなるわけではないのか。
- (フ) (事務局) 問題ない。「TaCoLAB」については12月以降も引き続き使用できる。
- (ヘ) これはつながりカフェの公式アカウントはないけどということか。
- (ホ) (事務局) そうなる。
- (マ) 特にアカウントがなくても# (ハッシュタグ) をつけることに問題はない。
- (ミ) (会長) この SNS というのはFacebook や X、インスタグラムなどのことか。
- (ム) (事務局) そのイメージ。
- (メ) #つながりカフェ だけだと川西のつながりカフェと混同してしまうので#つながりカフェ宝塚 がいいのではないか。TaCoLAB を付けると少し長く感じる。
- (モ) (会長) まだ認知度が低い中で、SNS で宣伝・周知すると効果があると思う。大学生も自分たちで活動を行った後に自分の言葉で感想を投稿しているが、SNS の役割のひとつかなと思う。
- (ヤ) 参加者が写真を撮影して、投稿してもいいということか。
- (ユ) そう思う。SNS に投稿されると、アンケート以外に参加者がどう思っているのかを知ることができる。横のつながりもどんどん広がっていけばいいなと思う。
- (ヨ) (会長) 悪いように発信される可能性もあるが、そこはいいように発信してもらいたい。
- (ラ) 最初にわたしたちである程度発信しておく必要がある。
- (リ) 私も普段 SNS で発信しているが、つながりカフェについて発信することがすごくしづらいなと思っていてできていなかった。
- (ル) #つながりカフェ宝塚で発信できればと思う。

- (レ) アンケートへの参加動機についての項目を追加することについて、これはなぜ追加することになったのか。
- (ロ) 参加動機についてはその場で聞くことも一つだと思うが、追加することでどれくらい興味を持ってきてくれるのかなど効果が見えやすいと思った。
- (ワ) (会長) 追加することについて問題ないか。
- (ヲ) (委員全員) 問題なし。

③ 9、10月のチラシについて

表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) 担い手やプレイヤーという文言を入れると私たちが担い手やプレイヤーを作るというように聞こえる気がする。参加する人が何かつながりたいなと思ってきてくれたらということだと思う。
- (イ) 実際つながった事例は実施報告(資料)の中に入れてほしい。つながった事例は委員の人たちも把握しておいた方が良いと思う。そこが一番の成果だと思うのであった方が良いと思う。アンケートの参加動機とつながると思うが、チラシにも参加者がどういうつながりを求めている、どうつながったのか記載しても良いと思う。
- (ウ) あまり詳しく書いてしまうと営業目的で来る人もいるかもしれないため、難しい。
- (エ) (会長) ニーズとニーズのつなげ方にも人と人や人とモノなど色々あると思う。そのニーズのどこに当てはまるかを検証してくのも良いと思う。どうつながりを作るのが重要。
- (オ) 話を聞きたいだけの人は本当に聞きたいだけだったかもしれない。そうなるにつながりカフェの趣旨が見えてくるかなと思う。
- (カ) (会長) これはチラシに実際にあった具体的な事例を記載するということか。
- (キ) (事務局) 記載しておいた方が参加される方もイメージしやすいかなと思う。
- (ク) 「つながりたい人とつながれました」はどうか。実際にそういう感想があった。
- (ケ) そのつながりたい人はピンポイントだったのか。
- (コ) こういう人とつながりたいなという大体のイメージはあって、何度か参加してつながれたという感じ。
- (サ) 4月ごろに参加してくれた大学生はまちづくりについての悩み相談があった。参加して相談したことでそれについて長けた人とつながれるという意味ではこれもひとつのつながりになると思う。
- (シ) 悩み相談であってもそういったものであれば良いと思う。

- (ス) もしかすると今後どこに相談したらいいかわからなくてといった相談もあるかもしれない。
- (セ) (会長) チラシに掲載するということに関しては、現時点ではまだあまり事例がないため、増えてきてからということで良いか。
- (ソ) どのような感じで入れるイメージか。
- (タ) (事務局) 先ほどもあったように、「〇〇でつながれました」というような内容のイメージ。
- (チ) すでに吹き出しにいくつか書いてあるのでそのうちの一つを変えてはどうか。
- (ツ) (事務局) 一度事務局で変えてみて、委員の皆さんにご意見をいただきたい。
- (テ) (委員全員) 問題なし。

(2) 協働の事例集の更新について

ア インタビュー 現在の進捗状況の報告

表記について事務局より資料に基づき説明を行った。

イ インタビュー終了済 委員からの報告・感想

委員より報告・感想を述べたのち、意見交換を行った。(以下抜粋)

- (ア) 現在記事を作成中だが、活動概要より以下は作成者に任せている感じが。
- (イ) (事務局) 活動概要以外はこういった順番かなどは決めていなかったと思う。
- (ウ) (ア委員) 協働には流れ(思い、つながり…等)があったと思うが、特にその順番でないといけないということはないということか。
- (エ) (事務局) 基本的には作成者の思いのまま書いていただいて問題ないかなと思う。

ウ 作成中記事(案)についての共有、校正

ライティング担当より記事(案)について説明を行い、意見交換を行った。(記事内容に関する意見交換省略)

エ 事例掲載ホームページのタイトル意見出し

表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) これは今回で決めるということか。
- (イ) (事務局) 段々と完成に近づいている記事があるため、できれば今回で決めてしまいたい。絶対に今日というわけではないため、決めきれなくても延長は可能。
- (ウ) (タイトル案ア、イについて) 結実集とあるが、活動自体は現在も行っているため、まだ実を結んでいないのではないかと思う。
- (エ) 実を結ぶというのは最初の思いなどが少しずつ実を結んでいっているとい

うこと。

- (オ) 「あなたの」というのはこの事例集に載っている人たちではなくて読んで
いる人のということか。
- (カ) そうなる。「あなたの」ということで一緒にやってみませんかという思いを
込めている。
- (キ) 少し遠回りな気がする。先ほどおっしゃったようにもう少しストレートで
も良いように思う。もっと一緒にやってみませんかのメッセージ性があっ
ても良いと思う。
- (ク) これはサブタイトルではなくてタイトルか。
- (ケ) (事務局) 本タイトルになる。
- (コ) (会長)「協働」という言葉を使わずにという話だったと思う。
- (サ) (事務局)「協働」という言葉をいれると少しかたく、とっつきにくいため
別のタイトルを考えている。ただ事務局としては「協働の事例集」という言
葉は入れたい。「〇〇～協働の事例集～」のイメージ。
- (シ) 「協働の事例集」を本タイトルにし、サブタイトルを考えるとこの中でも良
いか。
- (ス) (事務局) 問題ない。なにかしらで「協働の事例集」というのを伝えられれ
ば大丈夫。もし今日決まらなければ一旦「協働の事例集」で記事をあげて、
決まり次第修正するという方法でも可能。
- (セ) 画面に表示されたときに「協働の事例集」がサブタイトルだと画面に表示さ
れず、何かが伝わりにくいと思う。
- (ソ) 「あなたの思い、あなたの力、集めてみませんか」はどうか。
- (タ) 「力の集め方事例集」も良いと思う。
- (チ) (会長) 本タイトルは「協働の事例集」としサブタイトルは今後引き続き検
討していく。

(3) 来期(2期)への引継ぎについて

表記について事務局より資料に基づき説明を行った。

- 3 「市民と市との協働事業における 宝塚市 委託契約ガイドライン」の完成について
表記について事務局より資料に基づき報告を行った。

4 その他

5 閉会

以上